

第6回福岡空港調査P I有識者委員会

議 事 要 旨

【開催日時】平成18年12月8日（金）14:00～15:40

【開催場所】ホテル モントレ ラ・スール福岡 2階「ヌーヴォ」

【出席者】

（1）委員（委員長）筑波大学社会工学系教授	石田 東生
西日本新聞社特別顧問	杉尾 政博
公認会計士	土井良 延英
弁護士	山本 智子

（2）福岡空港調査連絡調整会議からの出席者

・福岡空港調査連絡調整会議幹事

国土交通省九州地方整備局港湾空港部長	鈴木 勝
国土交通省大阪航空局飛行場部長	八鍬 隆
福岡県企画振興部理事兼空港対策局長	西村 典明
（代理出席：福岡県空港計画課企画監	神谷 龍治）
福岡市総務企画局理事	岩瀬 信一郎

【資料】次第、出席者名簿、座席表

資料1 P I実施段階における監視（実施状況把握）の結果について
資料2-1 福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ2）実施報告書
資料2-2 福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ2）実施報告書（参考資料）

添付資料1 P I実施結果に関する評価のあり方について

添付資料2 福岡空港P I第2段階に関して〈竹林委員メモ〉

【議事要旨】

審議事項

・福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ2）実施報告書について福岡空港調査連絡調整会議（福岡県神谷企画監）から説明が行われた。

・委員会から次のような評価をされた。

P I活動の実施については、P I実施計画（ステップ2）に則って、十分な周知広報の実施、多様で適切なP I手法の選定、分かりやすい情報の提供を実施するとともに、収集した意見とそれに対する考え方を公表するなど、中立、公正、適正な時間管理のもと実施できたものと認められることから、適切なものであったと評価された。

また、情報が市民等に十分に提供され、市民等から幅広く意見が収集されたと考えられることから、P I（ステップ2）の当初の目標は達成されたと評価された。

・委員から次のような助言が行われた。

- ① P I で提供される情報については、市民等へ十分に情報が伝わるよう、より分かりやすいP I レポートの作成等に努めること。
- ② P I 手法については、これまで実施された企画の結果を踏まえながら、情報がより広く届くための工夫を行うこと。
- ③ 懇談会等においては、参加者層に応じた情報提供に努めるとともに、一方的な説明にならないよう、双方向性も考えながら意見交換の促進に努めること。
- ④ 専門的な知識が求められる事柄については、市民等の理解を高めるための工夫を行うとともに、これまでに提供された情報も含め、必要に応じて丁寧な説明を行うこと。